

6 キントーン活用事例プレゼンイベント kintone舞鶴CS2024の開催について

イベント概要

業務改善ツールkintoneを使い始めて3年以内の自治体で、業務改善の腕を競うプレゼン大会を開催。参加募集を7/24（水）から開始。

本大会はチーム戦とし、予選会として舞鶴市職員向けの庁内CS（チャンピオンシップ、以下同じ）、舞鶴市以外の自治体で競う庁外CSを8月下旬から開催。

それぞれの代表者が集うCS決勝を次のとおり開催。

決勝CS

【日時】 11月22日(金)14時～17時

【場所】 赤れんが3号棟（CVM）



6 キントーン活用事例プレゼンイベント kintone舞鶴CS2024の開催について



デジタルを活用する理由

人口が減少する中、自治体職員も減少していく。職員の業務負担が増える中で業務や情報共有の効率化、オンラインサービスなどの市民サービスの向上が求められ、デジタルの積極的な活用が必要不可欠。



本市の課題

デジタルの活用についても職員間で差が生まれており、技術を使いこなす職員と使いこなすまで時間がかかる職員、使うことすらアレルギー反応を示す職員もいる。



イベントで楽しくデジタルを活用する

競争要素も入ったイベントを盛り上げることで、デジタル活用への壁を突破し、楽しみながらデジタル技術を活用できるよう組織全体のレベルアップを目指す。

6 キントーン活用事例プレゼンイベント kintone舞鶴CS2024の開催について

kintoneとは

サイボウズ株式会社が開発する業務改善ツール。

プログラムの知識不要で、ドラッグ&ドロップだけで簡単にシステムを作成することができる。できたシステムは「アプリ」と呼んでいる。



舞鶴市の運用

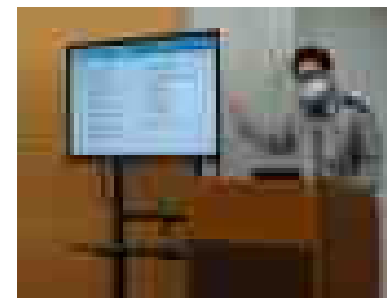
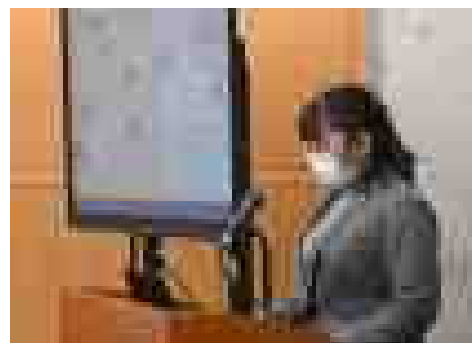
全庁的に導入しており、6月末時点で公用車運行管理アプリ、通勤届アプリ、避難所受付アプリなどの展開が進む



6 キントーン活用事例プレゼンイベント kintone舞鶴CS2024の開催について

昨年度もプレゼンイベント「アプリ甲子園」を開催

令和6年2月19日に福知山市、南丹市、高浜町にも参加してもらい、業務改善の手法をプレゼンするイベント「kintoneアプリ甲子園」を開催。10分間で資料や実際のkintoneアプリを使って業務改善の腕を競った。イベントやkintoneをきっかけに職員間のコミュニケーションが増加。また市外の職員とのつながりもでき、活用事例も知ることができた。



6 キントーン活用事例プレゼンイベント kintone舞鶴CS2024の開催について

本イベントを通して目指すこと

参加チームから各種資料・アプリの雛形の提出を求めており、参加者全員に全チームの提出物を還元。

事例を学び自治体に持ち帰ることに加えて、他自治体とつながれることで協力し合い、持続可能な業務運営に一役買ってくれると考えている。

このようにデジタルで解決できることはデジタルに任せ、変革によって創出できた人や時間といったかけがえのないリソースを、市民とのコミュニケーションなど人にしかできない業務に注力し、舞鶴市のDXを推進する。

問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
キントーン活用事例プレゼンイベント 「kintone舞鶴CS2024」の開催について	デジタル推進課	吉崎	66-1092	66-1097	digital@ city.maizuru.lg.jp